

H19_VI 都市公園の改修・再整備に関する調査

調査項目 都市公園の改修・再整備に関する調査

調査年次 平成 19 年度 章番号 [VI]

目的

既存ストックの有効活用の面からも公園の改修や再整備を効果的・効率的に進めていくことが求められる一方、道路などの交通基盤施設を中心に、公共施設を資産として計画的に管理していくアセットマネジメントの取り組みも進められている。トータルコストやライフサイクルコストなどインシャルコストとランニングコストを連結させるなど、全体のコスト管理によって公共施設整備をコントロールしようとする傾向がいっそう強まる中、各都市が都市公園の改修・再整備を進めにくく上で遭遇している課題やそれに対する取り組みについて整理し、今後の対応について検討する。

概要

都市公園の改修・再整備の現状、アセットマネジメントの先進事例や各都市における導入状況を調査把握し、今後の都市公園におけるアセットマネジメントの検討に向けた考え方を整理した。

結果

■ 都市公園の改修・再整備の現状調査結果

①取り組み方針・計画の有無

各都市からの都市公園の改修・再整備に関する調書の回答状況は以下の通りであり、13都市でなんらかの再整備に関する方針や計画があるという状況であった。

②基本的な考え方

基本的な考え方としては、施設などの老朽化への対応と住民ニーズの変化等への対応を図っているものが多く、ワークショップ等の住民参加を考えている都市も多い。

③抽出方法

公園開設後の経過年数のほか、地元要望、巡回等による現地調査などから抽出されているものが多い。

④取り組みのスケジュール

毎年一定数の取り組みを行うタイプと状況に応じて適宜取り組むタイプとに分かれている。

⑤改修・再整備の主な内容

整備の内容は、老朽施設の更新やバリアフリー化が主である。

⑥事業手法（事業名）と補助事業、他事業連携の有無

事業手法については、単独事業で行っているものが多いが、一部統合補助事業で取り組まれており、連携事業で行われているものは少ない。

⑦今後必要と考えられる取り組み

アセットマネジメントによる計画的な改修・再整備への取り組みのほか、新たな整備手法の検討などの課題があげられた。

■ アセットマネジメントの先進事例や各都市における状況の把握

①アセットマネジメントに関する先進事例調査

アセットマネジメントに関する先進的な取り組みの事例として、神奈川県県有施設長寿命化指針（神奈川県）、21世紀の都市を支えるために（大阪府）、土木施設長寿命化行動指針（案）（静岡県）、公共施設整備・再編計画（茅ヶ崎市）をとりあげ整理したが、いずれも土木施設を対象としたものであり、具体的な都市公園での扱いについては触れられていない状況であった。

②大都市公園緑地問題協議会（H18、H19）における議題での回答

平成18年度および平成19年度の大都市公園緑地問題協議会における議題で以下の項目について、各都市の状況を把握した。

《回答を収集した項目》

- ・基礎データの整理状況（台帳など）
- ・点検状況など
- ・施設更新計画、再整備計画など
- ・課題など
- ・再整備の対象公園

③各都市のアセットマネジメント状況の把握

各都市のアセットマネジメントの取り組みは、土木部局等が中心となっており、舗装、橋梁などの分野で取り組みが行われている事例が多い。

調査項目 都市公園の改修・再整備に関する調査

調査年次 平成19年度 章番号【VI】

都市公園での取り組み状況では、まだ取り組みが行われていない都市が多いが、その一方で今後検討が必要とする都市も多い。

■ 都市公園の改修・再整備の事例収集

以下の16公園の事例を収集した。

都市名	札幌市	仙台市	さいたま市	東京都	川崎市	横浜市	浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	広島市	
公園名	旭山記念公園	西公園	鈴谷西公園	上野恩賜公園	桜川公園	野毛山公園	特監第2公園	江西公園	二条公園	鉢立公園	北大江公園	甲斐町公園	西代公園	舟入第三公園

■ アセットマネジメントに関連した取り組み事例

今後の各都市におけるアセットマネジメントへの取り組みの際に参考となる事例として、公園樹木の取り扱い指針（札幌市）と様々な機会をとらまえた公園再整備（神戸市）の事例をとりあげた。

■ アセットマネジメント検討に向けた視点

当面の目標として、都市公園の維持管理ができるだけ効率化し、今後想定される数多くの都市公園の更新に備えることを主眼としたアセットマネジメントを検討することが求められており、様々な機会をとらまえて事業実施を行うことが必要である。

■ 今後のアセットマネジメント検討に向けた考え方

都市公園におけるアセットマネジメントを行っていくためには、前提となるデータ把握を行ったうえで、公園施設の適切な維持管理による長寿命化と一定以上劣化した（施設そのものだけではなくニーズ対応などの面も含めて）都市公園の再整備を計画的に行っていくことが重要である。

課題

この推進フローにおける各段階において、必要なデータや課題解決が必要と考えられる。

【対象データの把握・整理】

- ・公園台帳をはじめとした基礎的なデータ整理
- ・各公園の日常点検の結果等を反映するデータベースなどのシステム整理

【計画】

- ・「妥当な」管理水準の設定（改修と再整備の判断基準含む）
- ・優先度決定のための判断基準の設定
- ・想定事業費の算出と予算運動可能な事業計画の策定、イレギュラーな施設破損への対応
- ・設定寿命内で全ての公園再整備が可能となるスケジュール策定
- ・新規公園整備計画との調整

【施設の長寿命化】

- ・点検・診断マニュアルの策定－補修限界の見極め
- ・点検・診断体制の確保

【再整備】

- ・判断基準の設定（老朽度、安全性、利用ニーズの変化、地元要求など）
- ・ニーズの把握－再整備計画における施設の更新と新機能整備とのバランスなど
- ・事業手法の確保－バリアフリーなどの機会をとらまえて、新規事業創出など

【市民協働】

- ・協働での計画手法－維持管理につながる協働
- ・行政との役割分担、長寿命化サイクル（日常点検・診断）での連携

調査結果反映等

キーワード

アセットマネジメント、都市公園、改修・再整備、ライフサイクルコスト、長寿命化

事例公園等